

アート作品貸します

中央区の企業 職場や家庭に



熊本ゆかりの作家らのアート作品を職場や家庭に貸し出して広め、創作活動を支援する試みを、熊本市中央区のベンチャー企業が始めた。「レンタルアート」と呼ばれ、県内では珍しい取り組みだ。

「TONE art stock (トーンアートストック)」と

銘打った企画を始めたのは、同区で知的財産を活用した事業を支援する会社「フィールドワークス」。代表取締役の古家達也さん(44)が、倉庫に眠る県内作家の作品を企業や病院などの空い

た壁や空間に飾ることとで、互いに利益が生まれにくいかと考案した。

利用者は一定期間、

有料で借りた作品を飾り、気に入れば作家から購入することもできる。県外ではすでに広がりを見せており、古家さんは「両者が直接話すことで、利用者は作家の思いを知ることができ、作家もマーケティングを学べる」と狙いを語る。

価格は作品の大きさで異なり、1点当たり月額3300円〜1万円。展示期間は相談に応じる。

同社はレンタルアートを広く知ってもらおうと、同区上通町のビルの階段壁面を「ギャラリー」に仕立て、崇城大芸術学部デザイン学科4年の福乃佳由真さん(21)の初個展を10日まで開いている。

大学の研修で訪ねた

イタリアの風景などからインスピレーションを得て描いたイラスト原画14点(16枚四方)を展示。購入とレンタルが可能で、「部屋に飾りやすいサイズ。アートを身近に感じてほしい」と福乃佳さん。

同社は趣旨に賛同する作家や利用者を募っている。同社☎096(277)1569。(魚住有佳)

フィールドワークスが「レンタルアート」のモデル展示をしている「ギャラリー」。崇城大芸術学部4年の福乃佳由真さんが初個展を開いている

熊本市中央区